



日経電子版が2カ月無料



お申し込み

トップ

朝刊・夕刊

LIVE

Myニュース

岐阜・中津川で地盤沈下 リニア掘削工事、市道3.36センチ 道路損傷なし

2025年1月23日 1:49 [会員限定記事]

保存



JR東海は22日、リニア中央新幹線のトンネル掘削工事を巡り、岐阜県中津川市の工事現場の真上を通る市道で最大3.36センチメートルの地盤沈下が発生していると明らかにした。道路に損傷はなく、通行止めなども実施していない。JR東海はトンネルの補強を強化するなどの対策を取る。

岐阜県で開催した専門家会議で公表した。場所は同市千旦林の市道坂本69号線。トンネルと地表面の距離が短く、地盤が緩んだことが要因とみられる。沈下は2024年12月中旬に初めて確認された。

JR東海と中津川市は、道路面の低下が3センチを超えた場合は市に連絡し、5センチを超えると道路補修に向けた協議を実施すると取り決めている。同社によると、過去にも県内の別の数カ所でも3～4センチほどの沈下が起きており、個別に自治体に報告をしているという。

リニア工事を巡っては、同県瑞浪市大湫（おおくて）町でも地盤沈下が進行している。同市の事例はトンネル掘削工事による水位の低下に起因するものとされる。

初割ですべての記事が読み放題
有料会員が2カ月無料

初割で無料体験する

有料会員限定

キーワード登録であなたの